

商店街をもっと見る。もっと知る。

京都商店街新聞

KYOTO SHOPPING DISTRICT PRESS

2025.9 Vol.18

発行：京都府商店街振興組合連合会
〒600-8009 京都市下京区四条通室町東
入面谷鈴町78（京都経済センター3階）
TEL：075(342)0301 FAX：075(342)0302
URL：https://syouden.or.jp

CONTENTS

インタビュー：祇園縄手繁栄会 / 商店街の取り組み / U59商店街交流会 / みまもりあいプロジェクト
プロフェッショナル人材戦略拠点事業 / 企業から見る商店街の魅力 / and more...

次号予告 2025年11月末発行
竜馬通り商店街振興組合
インタビュー



祇園縄手繁栄会
会長 岡本 健志さん

京都らしい風情で 多くの人を魅了する商店街

三条大橋から八坂神社を望んだときに最初に出会う商店街。今号では祇園縄手繁栄会の岡本会長にお話を伺いました。

域の人々や観光客からも愛される商店街を目指し日々歩まれています。

国内外から人々を惹きつける 商店街の魅力

他の商店街ではみられない特徴として、店舗の多くが飲食店と古美術商で成り立っていることが挙げられます。特に美術関連の店は全体の約3割も占めていることは、全国的にも珍しいケースだといわれています。また、約半数以上を占める飲食店も洗練された京都らしい雰囲気をまとい、国内外から訪れる人々を魅了し続けています。

長く祇園のまちを見守ってきた祇園縄手繁栄会ですが、いまは昼と夜で全く違う顔を見せているそうです。昼間は外国人観光客で賑わい、夜になると飲食を目的とした日本人が多く訪れます。観光客の通り道だからこそ、一過性や営利目的だけの店ではなく、地域にも貢献し、ともに商店街を発展させていただけるお店が増えて欲しいと岡本会長は話されています。



歴史ある景観を残しながら
発展していく姿が皆に愛される
魅力あふれる商店街でした

私たち
京都外国語大学の学生が
取材しました！

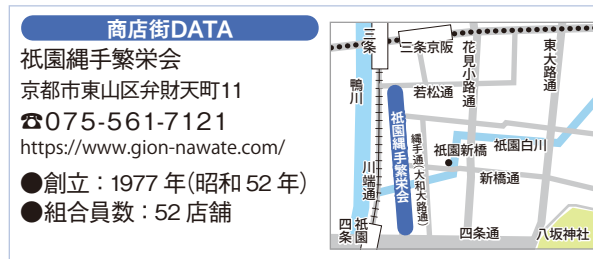
インタビューを 終えて

京都の中心地にありながらも、オーバーツーリズムの喧騒からは少し離れており、上品さとあたたかさを肌で感じられる商店街だという印象を受けました。白川や石畳、柳の木などのノスタルジックな雰囲気と、地域に密接した京都の風景を残し続ける祇園縄手繁栄会は、人の温かさはそのままに、その名の通りこれからも繁栄していくのだろうと実感しました。この度はご協力いただき、ありがとうございました。



伝統と賑わいの
祇園らしい
町並みが魅力

白川に架かる「祇園新橋」は国の伝統的建築物群保存地区にあり、縄手通の「大和橋」は石橋でできています。一帯の祇園らしい景観はテレビや映画の舞台にもなっています。



商店街DATA
祇園縄手繁栄会
京都市東山区弁財天町11
☎075-561-7121
https://www.gion-nawate.com/
●創立：1977年(昭和52年)
●組合員数：52店舗



写真提供 / 祇園白川桜ライトアップ実行委員会



商店街に面する白川沿いの遊歩道には
趣のある休憩スポットがあります



年2回発行される「祇園マップ」。
散策の頼れる味方です



会長と学生たちで
商店街の魅力
取材しました



街角にも案内マップが
設置されています

着実に進める 安全、快適な街づくり

祇園縄手繁栄会

京都らしい情緒と歴史を受け継ぎ、古美術商と飲食店が立ち並ぶ祇園縄手繁栄会。国内外の来街者を魅了する商店街です。

安心・安全で、 居心地の良い商店街であるために

商店街では、国内外を問わず、幅広い世代がリピーターとして訪れてもらえることが大切だとし、商店街活動の指針にもなっています。活動計画においても、会員の多くを占める飲食店や古美術店が連携し、より一体感が生まれるイベントや事業などを考えられているそうです。



その実現のためにも重要になるのが、「安心・安全で、居心地の良い商店街」であること。会員の目標を一つにまとめ、同じ方向を向いて取り組みを進めていくことも大切だとお話いただきました。しかし、現状では多忙な店舗も多く、「まずは自分のお店、その次に商店街」という意識が先立ってしまうという課題があります。そうした課題に向き合いながらも、安心・安全の実現に向けた取り組みは着実に進められています。朝は比較的静かな商店街という特徴もありますが、防犯対策として通りの8か所にそれぞれ2台ずつ防犯カメラを設置。来街者が心から安心して過ごせる環境づくりに力を注いでおられます。

祇園の街歩きをサポートするマップ媒体

商店街活動の大きな取り組みの一つが、年2回発行する「祇園マップ」。祇園内の飲食店や専門店、旅館に加え、コンビニやトイレの場所まで掲載することで、快適に散策してもらえる工夫を凝らしているそうです。特にお店については詳細に記載されており、マップ内のQRコードを読み取れば、携帯からさらに詳しい情報も確認できます。アナログとデジタルの両面を活用しながら、商店街の魅力を発信する利便性の高い媒体といえます。

商店街の課題と対策に向けて

岡本会長は、「会員数の減少」を商店街の課題として挙げられています。背景には商店主の高齢化による廃業などがあるとのこと。この課題に対しては、商店街のハード面をさらに整備するとともに、会員同士が理解し合える場を設け、密に連絡を取り合うことで発展に繋げていきたいと話されています。

また、商店街の先には観光地があることから、観光客が足を止めずに通り過ぎてしまうという問題もあります。現在、縄手通にはカフェやスイーツ店がありません。今後そうしたお店が開店すれば、商店街で休憩する観光客も増え、この課題の解決に繋がると考えられています。

お店のユニークな取り組みや工夫をご紹介します

店舗Pick Up! 商店街図鑑

祇園縄手
繁栄会

お客様との会話から始まる、最高のおもてなし

料理旅館 白梅



白川に架かる橋の先に佇む、料理旅館「白梅」。その歴史は江戸時代以来に遡ります。創業当初はお茶屋として人々をもてなしてきましたが、時代の移り変わりとともに、昭和24年に旅館へと姿を変え、今日に至っています。リピーターの方が多く、日本人のお客様はもちろん、最近では日本文化を体験したいというインバウンドの方も多いため、お部屋は全部で5室のため、よりお客様に寄り添った接客を提供されています。女将の奥田さんは「旅館は空間のみを提供するだけでなく、時間をも提供するサービス」だと話します。より素晴らしい時間を過ごしていただくために、事前にお客様とメールなどでやりとりをするそうですが、過去にはなんと130回も。会話をするうえで大切なことは「あなたのことを知りたい」という気持ちを持つことが大事だといえます。「建物のようなハード面は塗り替えられるが、人との交流や記憶はアップデートできない」と仰っていたことも印象的でした。



お問合せ / 075-561-1459
定休日 / 不定休
https://www.shiraume-kyoto.jp/

HPはこちら

人としての会話を大切にする美術商の接客

古美術 横山



祇園の地で130年続く美術商の店主・横山さんは6代目。古美術店といえば陶器や工芸品など、それぞれに特化した店になることが多いのですが、ここでは幅広く様々な美術品を扱っているそうです。客層は先代、先々代からの付き合いが長いお客様から、Webサイトを見て訪れる外国人のお客様まで様々。お店を長く続ける秘訣はご近所さんと仲良くなることだそうで、商店街として一緒にこの界隈を盛り上げていこうとする姿勢も大切だと話しておられました。

☎075-541-1321
営業 / 9:00~18:00
定休 / 日曜日
https://www.yokoyama-art.com/

HPはこちら

取材・文＝京都外国語大学 国際貢献学部グローバル観光学科
佐藤海結（3年次）、田中央羽（3年次）